



2022年4月18日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社
高崎支社
新潟支社

鉄道開業 150 年記念

JR 東日本の 3 台の SL による汽笛一斉吹鳴をライブ配信します！

1872 年 10 月 14 日に日本で鉄道が開業し、今年で 150 年を迎えることから、JR グループでは 4 月 1 日より「鉄道開業 150 年キャンペーン」を実施しています。

JR 東日本盛岡支社、高崎支社、新潟支社はそれぞれが保有する SL のうち、3 台の SL を使用して汽笛を一斉に吹鳴し「鉄道開業 150 年」を盛り上げます。SL を熟知した検修社員による汽笛一斉吹鳴の様子を YouTube の JR 東日本公式チャンネルでライブ配信します。

普段は見るできない 3 台の SL の共演をぜひご覧ください。

1 配信日時

2022 年 4 月 27 日 (水) 11 時 40 分～12 時 10 分

※アーカイブについては準備でき次第の配信となります。

2 配信チャンネル

YouTube JR 東日本公式チャンネル

URL : https://www.youtube.com/channel/UCioFIMsGwVfA-uWnnOZW0_Q

3 配信番組名

鉄道開業 150 年記念「汽笛一斉吹鳴と SL 大集合」

4 番組の主な内容

- ・ JR 東日本が保有する 3 台の SL による汽笛一斉吹鳴のライブ映像
- ・ 担当社員インタビュー

このほか、本企画の趣旨に賛同いただき、汽笛吹鳴を実施していただく他鉄道会社、団体様の SL も録画映像でご紹介します。

(汽笛吹鳴を実施するタイミングは会社・団体様により異なります)。

※ご紹介予定会社・団体

JR 九州様、JR 西日本様 (京都鉄道博物館)、
東日本鉄道文化財団様 (鉄道博物館)、東武鉄道様、
秩父鉄道様、真岡鐵道様、伊予鉄道様、小湊鉄道様



C58 239 (盛岡車両センター)



C61 20 (ぐんま車両センター)



C57 180 (新津運輸区)

参考 汽笛一斉吹鳴に参加する SL のご紹介

1. C58 239

◆概要

C58 239 号機は 1940 年に川崎車輛（川崎重工業）で製造され、1943 年に宮古機関区へ転属し山田線、釜石線、大船渡線等を中心に運行した。その後 1973 年に廃車となり岩手県営運動公園内の交通公園に静態保存された。

2012 年 12 月 4 日に、復元のため大宮総合車両センターへ陸送され、2014 年 1 月に盛岡車両センター所属として復活し、2014 年 4 月より「SL 銀河」として花巻～釜石間で運行を開始した。

◆主要諸元

全長 18,275mm 全高 3,940mm 全幅 2,936mm 動輪直径 1,520mm



2. C61 20

◆概要

1949 年に三菱重工で製造され、東北地方で初の特急列車の「はつかり」、初の夜行特急列車「はくつる」を東北本線仙台以北で牽引するなど、主に東北地方を運行した。1973 年に廃車となった後は、1974 年から群馬県伊勢崎市の華蔵寺公園遊園地にて保存・展示された。

2011 年の「群馬デスティネーションキャンペーン」を契機として、2010 年より大宮総合車両センターで復元工事が行われ、2011 年 3 月 31 日に高崎車両センター高崎支所（現：ぐんま車両センター）所属として復活した。現在は主に上越線高崎～水上間の「SL ぐんまみなかみ」、信越線高崎～横川間の「SL ぐんまよこかわ」として運行している。

◆主要諸元

全長 20,375mm 全高 3,980mm 全幅 2,930mm 動輪直径 1,750mm



3. C57 180

◆概要

C57 180 は、201 両製造された C57 型の 180 号機として 1946 年 8 月に三菱重工 三原製作所で製造され、新潟機関区に配属。その後、1963 年に新津機関区に配属され新潟を中心に活躍し、急行「日本海」や急行「佐渡」なども牽引した。1969 年、磐越西線の普通列車の牽引を最後に現役を退き、磐越西線引き込み線から新津市立新津第一小学校（当時）校庭まで、線路を敷設し自力走行で搬入され静態保存された。

1998 年、市民の方々の要望により大宮工場（当時）で動態復元し、1999 年 4 月 29 日より「SL ばんえつ物語」として新津～会津若松間で復活を遂げた。大きな動輪と細いボイラーにより優美に見えるその姿から“貴婦人”という愛称で親しまれている。

◆主要諸元

全長 20,330mm 全高 3,945mm 全幅 2,936mm 動輪直径 1,750mm

